

「主な取組」検証票

施策展開	2-(4)-ウ	安全・安心に暮らせる地域づくり	施 策	⑤交通安全対策の強化
			施策の小項目名	〇交通安全教育や交通安全活動の推進、飲酒運転根絶に向けた社会づくり
主な取組	交通安全対策・飲酒運転根絶対策事業（交通安全教育）		対応する成果指標	交通事故重傷者数及び死者数
施策の方向	・関係機関やボランティア等と連携した交通安全教育や交通安全活動を推進するとともに、飲酒運転根絶を図るため、「沖縄県飲酒運転根絶条例」に基づき、各季の交通安全運動における広報啓発や飲酒運転防止に向けて、県民一体となった各種対策に取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
道路における交通の安全と円滑を確保するため、「沖縄県飲酒運転根絶条例」に基づく飲酒運転根絶に向けた県民意識の高揚、自治体・事務所・飲食店等との連携のほか、参加・体験型の交通安全教育並びに広報啓発活動等の各種飲酒運転根絶対策を推進する。	県	交通安全対策・飲酒運転根絶対策の推進		
		交通安全教育の開催(累計)		
		4,000回	4,000回(8,000回)	4,000回(12,000回)
担当部課【連絡先】	県警本部交通部交通企画課		【 098-862-0110 】	関連URL
		—		

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)				
予算事業名		飲酒運転根絶対策事業			予算事業名		飲酒運転根絶対策事業	
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額		R6年度			
					主な財源	実施方法	当初予算額	
県単等	その他	541	600		県単等	その他	1,394	
令和5年度活動内容				令和6年度活動計画				
幅広い年齢層に対し、交通安全教育を積極的に実施したほか、デジタルサイネージ等の活用による広報啓発及び情報発信を強力に推進した。				参加・体験型の交通安全教育を積極的に推進し、各種媒体を活用した幅広い広報啓発及び情報発信を行い、県民の飲酒運転根絶意識の高揚を図る。				

活動指標名	交通安全教育の開催（累計）		R5年度			進捗状況	活動概要
実績値	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
	1,445回	1,641回	2,049回	4,000回(8,000回)	51.2%	大幅遅れ	新型コロナウイルスに係る規制が緩和され、交通安全教育及び指導を積極的に行った。また、デジタルサイネージ等を通じて広報啓発活動を推進し、県民の飲酒運転根絶意識の高揚を図った。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

新型コロナウイルス感染症に係る規制が緩和され、交通安全教育及び指導を積極的に実施し、前年度の実施回数を上回るも実施回数を大きく増加させることが出来ず、目標値には届かなかった。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和5年度の取組改善案	反映状況
〇新型コロナウイルス感染症に係る規制緩和により、コロナ禍前同様、適切に交通安全教室が実施できるよう関係機関・団体と連携し、時代に沿った講話等の開催により、更なる交通事故防止を図る。 〇デジタルサイネージ等の新たな広報媒体を効果的に活用し、飲酒運転根絶にむけた気運を高め、飲酒運転を「しない、させない、許さない」社会環境作りを推進する。	〇新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い規制が緩和され、交通安全教育及び指導を積極的に行った。また、デジタルサイネージ等を通じて広報啓発活動を協力に推進し、県民の交通事故抑止に対する意識の高揚を図った。 〇飲酒運転根絶県民大会（交通安全フォーラム同時開催）により、飲酒運転根絶に向けた気運を高め、飲酒運転を「しない、させない、許さない」社会環境作りを強力に推進した。

3 取組の検証（Check）

類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	デジタルサイネージやSNS等を活用し、飲酒運転根絶にかかる情報発信を積極的に推進しているが、飲酒運転検挙件数が増加する等状況が悪化しており、取組について検討が必要である。

4 取組の改善案（Action）

類型	内容
⑥ 変化に対応した取組の改善	情報発信については、世代に応じた効果的な手段・方法、内容を選択することが重要であるので、従来の方法・内容にとられない創意工夫を凝らした効果的な情報発信や広報啓発活動について検討する。